

平成 22 年度湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の実施要領(案)

1. 協議会の目的

湖北圏域内の 2 市が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、姉川、高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図る。

また、同協議会では、関係部局の横断的な連携を図りながら、防災・水防体制の充実強化や市町間の広域的な避難誘導體制の確立など様々な観点から効果的な対策の検討を行う。

2. 平成 22 年度の実施方針(案)

平成 21 年度の「湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会」¹では、湖北圏域における防災対策に関する現状と課題を抽出し、以下の 4 項目について検討を行った。(各項目の検討結果概要については次ページ表 1 参照)

検討事項	：きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	【河川防災情報 WG】
検討事項	：広域避難計画(案)の策定に関する検討	【広域避難 WG】
検討事項	：自主防災組織の活動強化支援対策の検討	【自主防災 WG】
検討事項	：水害に強い地域づくり計画の検討	【水害に強い地域づくり計画 WG】

平成 22 年度の協議会では平成 21 年度の検討成果および課題(次ページ表 1 参照)を踏まえ、以下の項目について検討を行うものとする。

平成 22 年度の検討項目(案)

検討事項	：きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	【河川防災情報 WG】
検討事項	：地区別避難計画(案)の策定に関する検討	【地区別避難 WG】
検討事項	：自主防災組織の活動強化支援策の検討	【自主防災 WG】
検討事項	：水害に強い地域づくり計画の検討	【水害に強い地域づくり計画 WG】

¹湖北圏域 2 市や国・県の行政関係のほか有識者で構成されている組織(会長：長浜市副市長)であり、湖北圏域における広域的な支援体制も含め効果的な減災対策について協議・検討を行う。

表1 湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 平成21年度の検討成果と今後の展開(案)

検討項目	平成21年度の検討内容	平成21年度の検討成果	平成22年度以降の展開(案)	備考
きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 検討対象地点における整備メニューの検討 各整備メニューの具体的検討 避難勧告等の発令判断支援資料(案)の改訂 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの協議会において抽出した経験的危険箇所および流下能力不足箇所のうち、選定した10箇所についてきめ細かい河川防災情報の整備メニューを明らかにした。 対象箇所において河川横断測量を実施し、水位関係表の精度向上を行った。 分かり易い表示指標として、簡易量水標および周知用看板の仕様を検討し、新規に簡易量水標を4箇所設置した。 市が避難勧告等を発令するにあたっての判断支援を目的として、地点別避難対象エリア、避難判断タイミングについて検討を行い、避難勧告等の発令判断支援資料(案)としてとりまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度以降は、本ワーキング(河川防災情報WG)にて、<u>今回の取組内容を他地点や他河川に拡げていくものとし、避難勧告等の発令判断支援資料(案)を今後も更新していくものとする。</u> 経験的危険箇所等における情報提供 分かり易い表示指標整備 避難勧告の発令判断支援 	河川防災情報WG
広域避難計画(案)の策定に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 内水はん濫を考慮した災害図上訓練の実施および課題の抽出 抽出課題に対する解決案のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水ハザードマップに記載されている姉川・高時川浸水想定区域図によると、旧虎姫町は浸水範囲が全域に及び、町内での避難は困難であることに始まり、平成20年度の広域避難WGでは、町外での避難所として県立長浜ドームが指定され、ハザードマップにもその旨記載がなされた。また、2市6町および滋賀県にて「広域避難の連携に関する基本協定書」が締結された。さらに平成21年度の広域避難WGでは、市町合併によりこれまで町外となっていた避難所も同じ市内の避難所として使用可能となり、長浜ドーム以外への避難も可能となった。また、<u>地区毎に避難行動の方法も異なることから、地区別避難計画の必要性について明らかにした。</u> 広域避難WGでは、住民および行政が災害図上訓練を通して様々な課題を抽出し、それらに対する解決案を検討し、併せて実施主体も明らかにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度および平成21年度のWGを通して、様々な課題が抽出された。特に解決案の一つに挙げられている「<u>地区別避難計画</u>」については、<u>平成22年度よりモデル地区における策定支援を行うものとする。</u>その他抽出課題に対する解決案については、実施主体者が順次検討、実施を行うものとする。 	広域避難WG
自主防災組織の活動強化支援対策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の取組事例収集 土砂災害ハザードマップ作成支援方策検討 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災の最小単位である自主防災組織の強化を目的として、湖北圏域内の水害および土砂災害における取組について、各市における自治会の取組事例を収集し「自治会の取組事例集」としてとりまとめた。結果的に、水害あるいは土砂災害への備え意識の高い地域もあれば、いずれに対しても備え意識のあまり見られない地域もあり、地域の置かれている状況毎に「自助・共助」の意識が異なっていることが判った。 特に、土砂災害については<u>長浜市上草野地区を対象に現地踏査し、「公助」の視点から土砂災害に対する地域固有の課題について抽出した。(行政レベル)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度は土砂災害HMを元に行政レベルでの課題抽出を行ったが(公助)、平成22年度以降は、モデル地区において「<u>自助・共助</u>」の視点も取り入れた<u>真に活用しやすい地区別版のハザードマップを作成するものとする。</u> 平成21年度取り組み事例の他地区への展開 上草野地区における次なるステップへの展開 	自主防災WG
水害に強い地域づくり計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情を加味した対応策の検討 水害に強い地域づくり計画原案の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 姉川、高時川に囲まれるエリアのうち、人命被害が発生する危険性が高い(浸水深が3m以上、流体力が2.5m³/s²以上)区域を含む旧虎姫町の地域を計画策定対象地域に選定し、住民参加のWGにより検討を進めた。 虎姫地区は河道改修後も水害の危険性が高く、減災対策が必要であることを住民や参加者に認識頂いた。 <u>地域は、市から避難勧告が発令されなくても、自ら判断して自主避難ができるよう、避難方法、判断時期や避難経路などを明らかにした「地区別避難計画」を策定することが必要との認識で一致した。</u>今後は、モデル地区で検討を進め、その後各自治会に展開させることとした。 以上をとりまとめた水害に強い地域づくり計画(素案)を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度以降は、本ワーキングにて明らかとなった対応策について水害に強い地域づくり計画ロードマップに則って各行動主体が順次実施していく。 計画原案を広く地域住民に公表して意見を募集するなど、<u>対応策の内容をさらに具体化させ最終的な計画に仕上げていく。</u>さらに、<u>姉川や高時川沿川で、人命被害が発生する危険性が高い他の地域での計画策定を進めていく。</u> また、本ワーキングにおいては各対応策の実施状況についての確認や横断的な情報共有を行う場を設けると同時に、新たに発生した課題等についての協議を行うものとする。 	水害に強い地域づくり計画WG

3. 実施体制(案)

3.1 組織と構成

湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会はこれまで同様、湖北圏域2市、学識経験者、国および県関係各課で組織するものとする。また、全体としては以下に示すように、協議会、実行委員会議および個別ワーキンググループで構成するものとする。

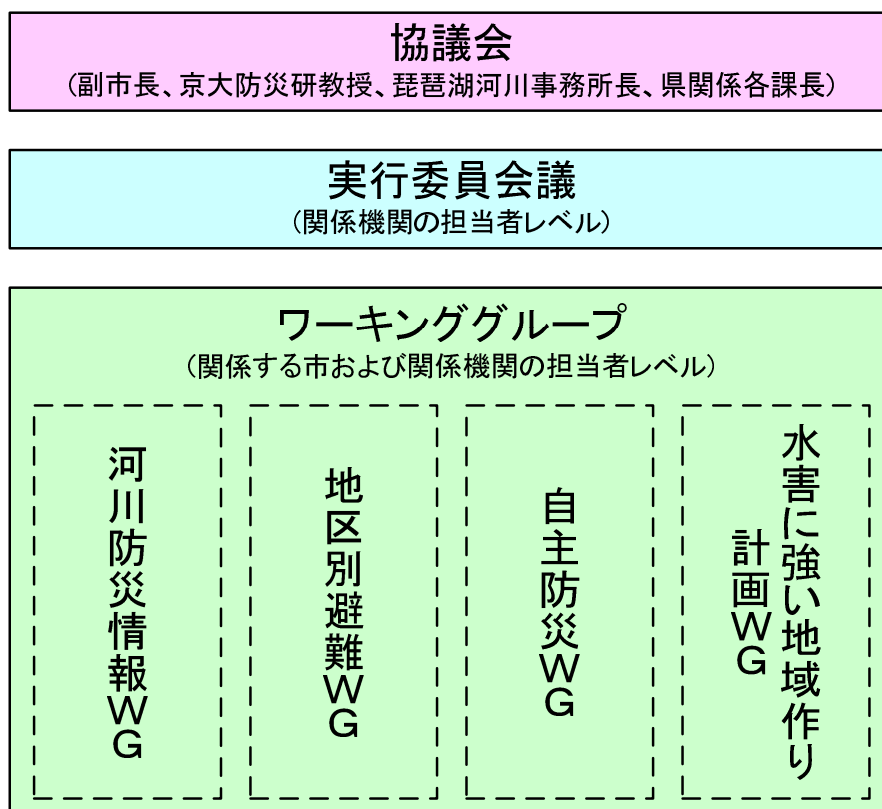


図1 湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の構成

表2 実行委員会議および各種ワーキングに関する市

実行委員会議、ワーキング	関係市
実行委員会議(全体協議の位置付け)	長浜市、米原市
河川防災情報WG	長浜市、米原市
地区別避難WG	長浜市
自主防災WG	長浜市、米原市
水害に強い地域づくり計画WG	長浜市、米原市

4. 実施内容(案)

4.1 きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討【資料3 - 2】

本検討では、平成21年度に引き続き、市における避難勧告等の発令判断および地元住民の日頃からの水害への備えに役立てることを目的とした「きめ細かい河川防災情報の提供」を目指して、主に以下の項目について検討する予定である。なお、平成22年度より新たに水位周知河川である天野川を検討の対象に加えるものとする。(個別ワーキンググループ：河川防災情報WG)

【検討項目(案)】

- ・ 経験的危険箇所等における情報整備（水位関係表作成、水位観測による精度向上）
- ・ 分かり易い表示指標整備（簡易量水標の設置、周知用看板の設置）
- ・ 避難勧告の発令判断支援（地区別避難判断基準の設定）
- ・ 避難勧告等の発令判断支援資料(案)の改訂

4.2 地区別避難計画(案)の策定に関する検討【資料3 - 3】

本検討では、住民主導型の避難体制確立を目指し、自助・共助の観点から、洪水を対象にした情報伝達方法や避難判断時期、避難経路等を明確にした地区別避難計画(案)について検討する予定である。(個別ワーキンググループ：地区別避難WG)

【検討項目(案)】

- ・ モデル地区の選定（大井地区）
- ・ 地区別避難計画策定に向けた災害図上訓練の実施および課題抽出、解決策検討
- ・ 解決策を踏まえた住民行動計画の検討

4.3 自主防災組織の活動強化支援策の検討【資料3 - 4】

本検討では、自主防災組織の活動強化を目的とし、主に以下の項目について検討する予定である。(個別ワーキンググループ：自主防災WG)

【検討項目(案)】

- ・ 長浜市上草野地区を対象に土砂災害ワークショップの取組について（報告）
- ・ 上記ワークショップの取組事例を踏まえて、他地区への展開
- ・ 長浜市上草野地区を対象に、次なるステップへの展開

4.4 水害に強い地域づくり計画の検討【資料3 - 5】

本検討では、姉川・高時川および天野川のはん濫原内のモデル地区において、水害に強い地域づくりのための流域治水対策（ためる・とどめる・そなえる対策）の検討を行う予定である。

(個別ワーキンググループ：水害に強い地域づくり計画WG)

【検討項目(案)】

- ・ モデル地区の選定（村居田地区(新規)、虎姫地区(継続)を予定）
- ・ モデル地区における流域治水対策の検討
- ・ モデル地区における水害に強い地域づくり計画(原案)の作成

5. 平成 22 年度湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の流れ(案)

年	月	協議会	実行委員会議 (全体協議)	ワーキンググループ					その他
				河川防災情報WG	地区別避難WG	自主防災WG	水害に強い地域づくり計画WG		
22	8		平成22年度 第1回実行委員会議 8/27 ・今年度の検討内容、進め方について ・協議会への報告事項の確認	対象河川: 姉川・高時川、天野川	対象地区:大井地区		対象地区: 村居田地区(新規)	対象地区: 虎姫地区(継続)	
	9								
	10						村居田地区聞き取り調査 10月29日 ・自治会長他へ過去の災害等についてヒアリング		簡易水位計の設置 水位モニタリング
	11	第4回 協議会 11月10日 ・昨年度の検討結果報告 ・今年度の検討内容承認	平成22年度 第1回河川防災情報WG 11月24日 ・経験的危険箇所、ネック箇所の選定(事前調査) ・簡易量水標、周知用看板仕様案について ・水位関係表の精度向上方針について ・地区別避難判断基準設定方針について		平成22年度 第1回自主防災WG 11月24日 ・ワークショップの報告(H22.6.19実施) ・今年度の進め方について	平成22年度 第1回水害に強い地域づくり計画WG 11月下旬 ・地域づくり計画の概要	平成22年度 第1回水害に強い地域づくり計画WG 11月下旬 ・素案の精査と今後の進め方について		
	12		平成22年度 第2回河川防災情報WG 12月中旬 ・現地視察による確認 (簡易量水標設置位置、簡易水位計の確認等)	平成22年度 第1回地区別避難WG 12月5日 ・災害図上訓練の実施および課題の抽出		平成22年度 第2回水害に強い地域づくり計画WG 12月中旬 ・現地視察			
22	1		平成22年度 第3回河川防災情報WG 1月中旬 ・地区別避難判断基準の検討			平成22年度 第3回水害に強い地域づくり計画WG 1月中旬 ・対応策の検討		簡易量水標の設置 周知用看板の設置	
	2		平成22年度 第4回河川防災情報WG 2月下旬 ・避難勧告等の発令判断支援資料(案)の作成	平成22年度 第3回地区別避難WG 2月上旬 ・抽出課題に対する解決策の検討 ・解決策を踏まえた住民行動計画の検討		平成22年度 第4回水害に強い地域づくり計画WG 2月下旬 ・地域づくり計画(原案)のとりまとめ			
	3		平成22年度 第2回実行委員会議 3月中旬 ・今年度の検討結果について ・協議会への報告事項の確認						

- 参考資料 -

平成 21 年度協議会の検討経過

「湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会」の検討経過(平成21年度)

	協議会	実行委員会議	<p>目的</p> <p>湖北地域振興局管内の2市6町が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、姉川、高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図る。</p> <p>また、協議会では広域的な避難誘導体制の確立など、様々な観点から効果的なソフト対策の検討を行う。</p>			
H21 8/21		(第14回 全体)	<p>今年度の実施内容について</p> <p>今年度の実施内容について協議し、以下の項目について検討することを確認した。</p> <p>本協議会での検討項目(平成21年度)</p> <p>きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討(長浜市、旧虎姫町、旧湖北町、旧高月町、旧木之本町) 河川防災情報WG 広域避難計画(案)の策定に関する検討(長浜市、旧虎姫町) 広域避難WG 自主防災組織の活動強化支援対策の検討(湖北圏域の全市町を対象) 自主防災WG 水害に強い地域づくり計画の検討(長浜市、旧虎姫町) 水害に強い地域づくり計画WG</p>			
			きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	広域避難計画(案)の策定に関する検討	自主防災組織の活動強化支援対策の検討	水害に強い地域づくり計画の検討
H21 9/30			虎姫町災害支援活動ネットワーク連絡会「水害図上訓練」の実施			
H21 10/1		第15回	対象地点での整備メニュー検討 ・きめ細かい河川防災情報の整備メニューについて、対象地点毎に検討した。(現地視察)			
H21 11/16		第16回				圏域における浸水状況の把握 ・はん濫シミュレーションによる浸水状況の確認 ・水害に強い地域づくり計画の対象地域の選定
H21 11/30		第17回		災害図上訓練の実施 ・内水はん濫を考慮した災害図上訓練の実施 ・図上訓練を踏まえたの課題抽出		対象地域の現地視察 ・経験的危険箇所の確認(河川班) ・堤内地危険箇所の確認(集落班)
H21 12/11		第19回			今年度の実施内容について ・自治会取組事例の紹介 ・土砂災害HM活用支援の今年度の実施内容についての協議	
H21 12/18		第20回	各整備メニューの具体的検討 ・水位関係表の精度向上 ・分かり易い表示指標 ・避難勧告の発令判断支援			地域の実情を加味した対応策検討 ・過去の経験や地域の知恵を加えた対応策 ・広域避難図上訓練における課題への対応策 ・川の外、川の中の対応策
H22 2/5		第22回		抽出課題に対する解決案の検討 ・抽出課題に対する解決案について協議し、とりまとめる		
H22 2/8			滋賀県と中日本高速道路株式会社にて「包括的連携協定」を締結した			
H22 2/15		第23回				水害に強い地域作り計画原案作成 ・川の中、川の外への対応内容 ・年度別の実施計画
H22 2/18		第24回	避難勧告等の発令判断支援資料(案)の作成 ・水位関係表の精度向上 ・分かり易い表示指標 ・避難勧告の発令判断支援		今年度の実施内容のとりまとめ ・自治会取組事例のとりまとめ ・現地踏査を踏まえた避難時の課題抽出および今後の実施方針協議	
H22 3/24		第26回	今年度の取り組み検討結果等についてのとりまとめ			

平成 20 年度協議会の検討経過

「湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会」の検討経過(平成20年度)

	協議会	実行委員会議	<p>目的 湖北地域振興局管内の2市6町が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、姉川、高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図る。 また、協議会では広域的な避難誘導体制の確立など、様々な観点から効果的なソフト対策の検討を行う。</p>						
H20 5/12	(個別)	第7回	<p>避難所応援協定の検証 虎姫町、湖北町洪水避難訓練に併せた広域情報伝達訓練(避難所応援協定の検証)について個別に協議した</p>						
H20 6/8			<p>広域情報伝達訓練 虎姫町、湖北町洪水避難訓練に併せた広域情報伝達訓練(避難所応援協定の検証)を実施した</p>						
H20 6/20			<p>広域情報伝達訓練反省会 長浜ドームの使用や応援要請に関する調整を県本部で行うことは、地域の実情が把握しきれないため難しいが、早期の協定締結に努めることを確認した。</p>						
H20 9/10	(全体)	第8回	<p>今年度の検討項目について、関係市町単位で実施していくことを確認した。</p> <p>本協議会での検討項目(平成20年度) ①きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討(長浜市、米原市、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町) ②広域避難計画(案)の策定に関する検討(長浜市、虎姫町、湖北町)→広域避難WG ③自主防災組織の活動強化支援対策の検討(米原市、余呉町、西浅井町)→自主防災WG</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討</th> <th>広域避難計画(案)の策定に関する検討</th> <th>自主防災組織の活動強化支援対策の検討</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>水位換算表の精度向上にかかる検討 ・経験的危険箇所における詳細情報の把握(詳細位置・写真、危険を判断する水位等)</p> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	広域避難計画(案)の策定に関する検討	自主防災組織の活動強化支援対策の検討	<p>水位換算表の精度向上にかかる検討 ・経験的危険箇所における詳細情報の把握(詳細位置・写真、危険を判断する水位等)</p>		
きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討	広域避難計画(案)の策定に関する検討	自主防災組織の活動強化支援対策の検討							
<p>水位換算表の精度向上にかかる検討 ・経験的危険箇所における詳細情報の把握(詳細位置・写真、危険を判断する水位等)</p>									
H20 10/22	(個別)	第9回	<p>破堤シナリオに沿った図上訓練の実施 ・昨年度検討した姉川・高時川の破堤シナリオに沿った災害図上訓練(R-DIG)の実施</p>						
H20 11/26	(個別)	第10回	<p>自主防災組織活動マニュアル作成に向けて ・マニュアル(完成型)の内容 ・今年度取り組む内容 ・活動事例収集先(地域)の選定 ・収集先(地域)への聞き取り項目</p>						
H20 12/12			<p>湖北2市6町および滋賀県にて「広域避難の連携に関する基本協定書」を締結</p>						
H20 12/25	(個別)	第11回	<p>広域避難に向けた課題・解決案検討 ・災害図上訓練での課題整理 ・抽出課題に対する代替案検討</p>						
H21 1/21	(個別)	第12回	<p>自主防災組織活動事例集の検討 ・収集事例の紹介、内容検討</p>						
H21 1/28	現地踏査		<p>経験的危険箇所での危険度把握手法の検討 ・既設テレメータとの関係について ・分かり易い危険度把握手法の検討 ・簡易量水標の設置について</p>						
H21 2/13	(全体)	第13回	<p>平成20年度検討結果とりまとめ 今年度の検討成果についての「とりまとめ」について協議する</p>						
H21 3/2	第3回		<p>今年度の取り組み検討結果等について</p>						

平成 19 年度協議会の検討経過

「湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会」の検討経過(平成19年度)

	協議会	実行委員会議	<p>目的</p> <p>湖北地域振興局管内の2市6町が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、姉川、高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図る。</p> <p>また、協議会では広域的な避難誘導體制の確立など、様々な観点から効果的なソフト対策の検討を行う。</p>
H19 6/1		第1回	<p>本協議会で検討する項目について議論</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>アイスブレイキング(情報提供・勉強会)</p> <p>情報提供・勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域図の説明+事例紹介(姉川・高時川) ・ハザードマップの説明+事例紹介(長浜市) ・土砂災害警戒区域等について ・流域治水対策について </div> <div style="width: 45%;"> <p>各自治体における防災対策の現状把握</p> <p>防災対策に関する現状把握アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治体が重要視する喫緊の防災対策は何か ・住民が要望している防災対策は何か ・土木と防災部局との役割分担はどうか、課題は何か ・自主防災組織の現状はどうか、課題は何か ・各自治体における防災行政の現状はどうか、課題は何か ・過去の出水における行動はどうだったか、課題は何か </div> </div>
H19 8/31		第2回	<p>現状把握アンケート結果の発表・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のアンケート結果を受けた意見交換 <p>本協議会での検討項目</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市町界を超えた広域的な避難計画の検討 (避難勧告の共通した基準作り、広域ハザードマップ) ②自主防災組織の活動強化支援対策の検討 (地域防災力アンケート調査を受けて、課題および対策を検討)
H19 11/1	第1回		<p>上記2項目について、本協議会で検討することが承認された</p>
H19 11/1		第3回	<p>避難に関する課題を抽出</p> <ol style="list-style-type: none"> ①避難勧告等の発令基準についての技術的検討 ②避難勧告等の発令後の体制として担保しておくべき事項
H19 12/19		第4回	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>市町界を超えた広域的な避難計画の検討</p> <p>避難勧告等の発令基準についての技術的検討</p> <p>避難に関する追加調査(アンケート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令にあたって欲しい情報 ・自治体が昔から把握している危険箇所・判断基準等 <p>避難勧告等の発令判断に必要な情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の要望する情報と県の発信する情報の相合せ ・避難勧告等の発令判断支援資料(案)の項目提示 </div> <div style="width: 45%;"> <p>自主防災組織の活動強化支援対策の検討</p> <p>自主防災組織の活動強化支援対策の検討</p> <p>広域的なはん濫現象の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区のはん濫特性、浸水特性(類似地区の把握) ・はん濫が起こる可能性の高い場所の順序 ・経験的危険箇所の考慮(災害文化) ・いつも浸かる場所の広域的把握 <p>避難所過不足状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治体の避難所過不足状況を確認し、喫緊の対応が必要な自治体を把握 </div> </div>
H20 1/21		第5回	<p>喫緊に対策が必要な箇所の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区での問題点の明確化 個別協議(虎姫町・長浜市・湖北町)
H20 2/18		第6回	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>避難勧告等の発令判断支援資料(案)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令を判断するにあたって必要な情報を元に、分かり易い判断資料を作成 </div> <div style="width: 45%;"> <p>モデル地区での問題点を踏まえた要望書等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区における問題点を整理し、当該地区での対策を担保するための協定書や要望書の案を検討 </div> </div> <p>地域防災力の結果報告・対策検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力アンケート調査を受けて、課題等を検討
H20 3/25	第2回		<p>今年度の取り組み検討結果等について</p>